

2022 年卒  
Vol.02

## 11 月後半時点の就職意識調査

キャリアス就活 2022 学生モニター調査結果 (2020 年 12 月発行)

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない状況下で、2022 年卒学生の就職戦線の見方や就活準備状況は、前年の先輩たちと比べてどのように変化しているだろうか。キャリアス就活・学生モニターを対象に、11 月後半時点での就職意識および就職活動の準備状況などを尋ねた。

### 1. 就職戦線の見方

- 先輩たちよりも「非常に厳しくなる」が前年の 4 倍に (9.1%→38.5%)
- コロナ禍による採用規模の縮小を懸念する学生が目立つ。オンライン就活への不安の声も

### 2. 11 月後半時点での志望業界

- 志望業界が「明確に決まっている」27.3%。前年より早いペースで決定
- 1 位「インターネットサービス」、2 位「情報処理・ソフトウェア」。IT が上位を占める

### 3. 企業選びのこだわり度合い

- 「社風・人に強くこだわる」57.2%、「企業規模に強くこだわる」11.8%
- 「給与・待遇に強くこだわる」学生は前年より 10 ポイント以上減少 (39.9%→29.6%)

### 4. 中小企業への就活予定

- 「積極的にしたい」「積極的ではないが、する予定」を合わせて約半数が中小への就活を予定

### 5. 就活準備イベントへの参加

- オンライン形式への参加経験者は 9 割強 (94.7%)。平均 8.5 回参加
- 会場型 (リアル) への参加者は 5 割 (50.3%)。平均 2.8 回参加

### 6. インターンシップ等 (※) の参加状況

- モニター全体の 87.8% が参加経験あり。9 割近い高水準を維持
- 夏場の参加が減少した一方で、9 月以降は前年を上回り、積極的に参加
- 平均参加社数 7.4 社のうち、就職したいと思った企業は 2.7 社

### 7. 今後のインターンシップ等参加予定

- 今後参加したい時期は「1 月」が最多。「対面・オンラインの両方に参加したい」78.4%

### 8. 就職活動開始状況

- 「自分の中で就職活動は始まっている」92.4%。前年同期調査 (85.7%) より 6.7 ポイント増加

※「インターンシップ (就業体験を伴う複数日程のプログラム)」に限定せず、1 日以内のプログラム等も含めて尋ねた

## 調査概要

- 調査対象 : 2022 年 3 月に卒業予定の大学 3 年生 (理系は大学院修士課程 1 年生含む)  
 回答者数 : 1,072 人 (文系男子 345 人、文系女子 313 人、理系男子 294 人、理系女子 120 人)  
 調査方法 : インターネット調査法  
 調査期間 : 2020 年 11 月 16 日~24 日  
 サンプルング : キャリタス就活 2022 学生モニター (2016 年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」)

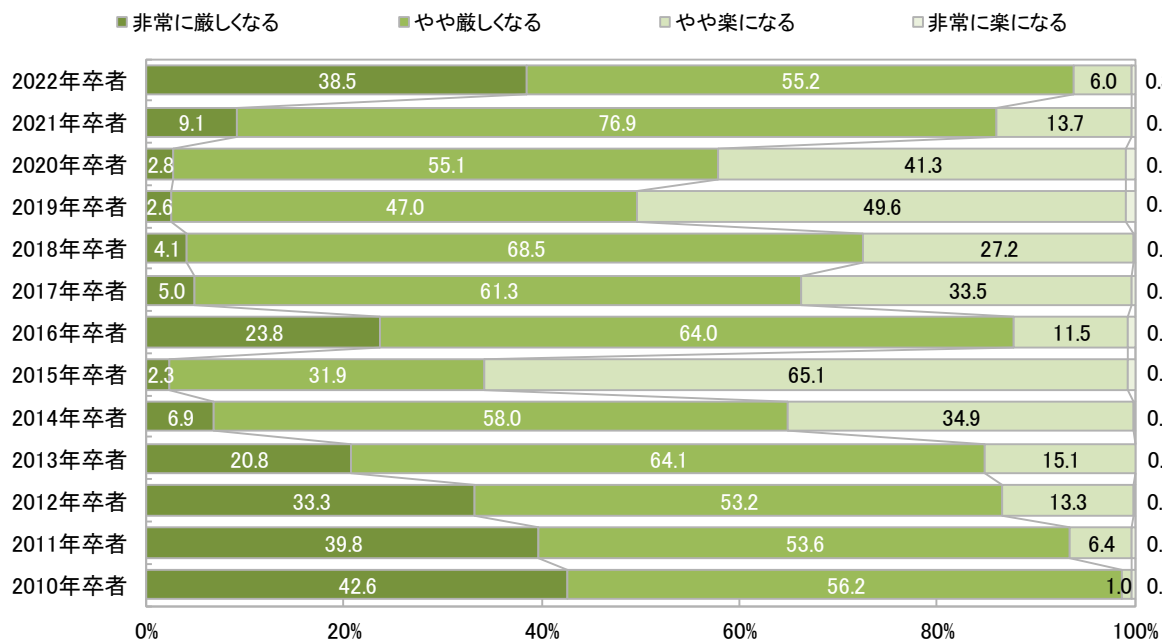
## 1. 就職戦線の見方

2022 年卒の就活生は、自分たちの就職戦線が 1 学年上の先輩たち (2021 年卒者) に比べてどのようになると見ているのか、その見通しを尋ねた。まず、「非常に厳しくなる」という回答が、前年の 9.1% から 38.5% へと 4 倍以上も増加しているのが目立つ。昨年の 11 月と言えば、まだコロナの流行前であり、この 1 年で学生たちの置かれた状況が一変した様子が伝わってくる。

なお、「やや厳しくなる」(55.2%) を合わせると 9 割強 (計 93.7%) が厳しくなると予想。この合計が 9 割を超えたのは、リーマン・ショック後の 2011 年卒者への調査 (2009 年 11 月調査) 以来だ。

厳しくなると回答した学生のコメントを見ると、やはり採用規模の縮小を理由に挙げる声が大勢だ。採用数を減らす、採用を見送るなど、コロナの影響が本格化するの自分たちの代との見方が大勢を占める。就活のオンライン化がより進み、企業研究の難しさ (情報不足) や、オンライン面接のハードルの高さなどを心配する声もある。前年調査では、経団連の指針廃止による早期化や、東京オリンピック後の景気後退を懸念する声が目立ったが、今年のコメントはコロナ一色といった様相だ。

### <就職戦線の見方>



#### ■「厳しくなる」と見る理由

- コロナの影響が出始めたのが 21 卒の採用途中ということもあり、本格的に採用枠を少なくしたり、採用を取りやめたりするのは 22 卒からなのではないかと考えるため。 <文系男子>
- 実際にインターンシップ選考で例年の何倍の応募数という話を聞いたり、新卒採用どころか希望退職者を募っている企業のニュースを目にしたので。 <文系女子>
- コロナの影響で、オンラインでのセミナーやインターンシップがほとんどであり、企業に関する情報を集めにくく、雰囲気を知る機会も少ない。深く理解できないまま本選考を迎えることになりかねない。 <理系男子>
- リーマン・ショック後の数年間は採用が減少していたため、コロナが起きた今、非常に厳しくなると考えている。 <理系女子>

#### ■「楽になる」と見る理由

- 自身の志望する企業の大半が採用人数を変更しないと明言しており、さらに昨年の就活生よりは前もって with コロナの就活準備を整えることができるだろうから。 <文系男子>
- コロナでどの業界が危ういかがこの時点でわかっているため、急な変更を要されないから。 <文系女子>

## 2. 11 月後半時点での志望業界

志望業界について尋ねたところ、「明確に決まっている」という学生が27.3%で、11月後半の時点で3割近くが明確に志望業界を固めていることがわかった。前年同期調査 (22.0%) を5.3ポイント上回り、かなり早いペースで決めている様子が見える。「なんとなく決まっている」(51.3%) を合わせると約8割に上り (78.6%)、残りの2割 (21.4%) が「決まっていない」と回答した。

志望業界のある学生に具体的な業界を尋ねたところ (40業界から選択)、最も多かったのは「情報・インターネットサービス」(18.5%)。ここに「情報処理・ソフトウェア」と「水産・食品」が同率で続き (16.8%)、上位3位の顔ぶれは前年同期調査と変わりはない。今期も序盤からIT人気が目立っている。

属性別に確認すると、文系男子の1位は「銀行」で、2位は「調査・コンサル」。文系女子は「マスコミ」が1位で、「水産・食品」が2位。「水産・食品」は理系女子で3位に入っており、女子の人気の高い。理系男子は「情報・インターネットサービス」「情報処理・ソフトウェア」がともに1位で、IT業界への関心が特に高いことがわかる。理系女子の1位は「素材・化学」と「医薬品・化粧品」。

志望業界は就職活動が進んでいく中で変化することも多い。今後の推移に注目したい。

### <志望業界の決定状況>

	全体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
明確に決まっている	27.3	22.0	26.4	18.5	34.4	35.8
なんとなく決まっている	51.3	53.0	46.4	58.1	51.4	47.5
決まっていない	21.4	25.0	27.2	23.3	14.3	16.7

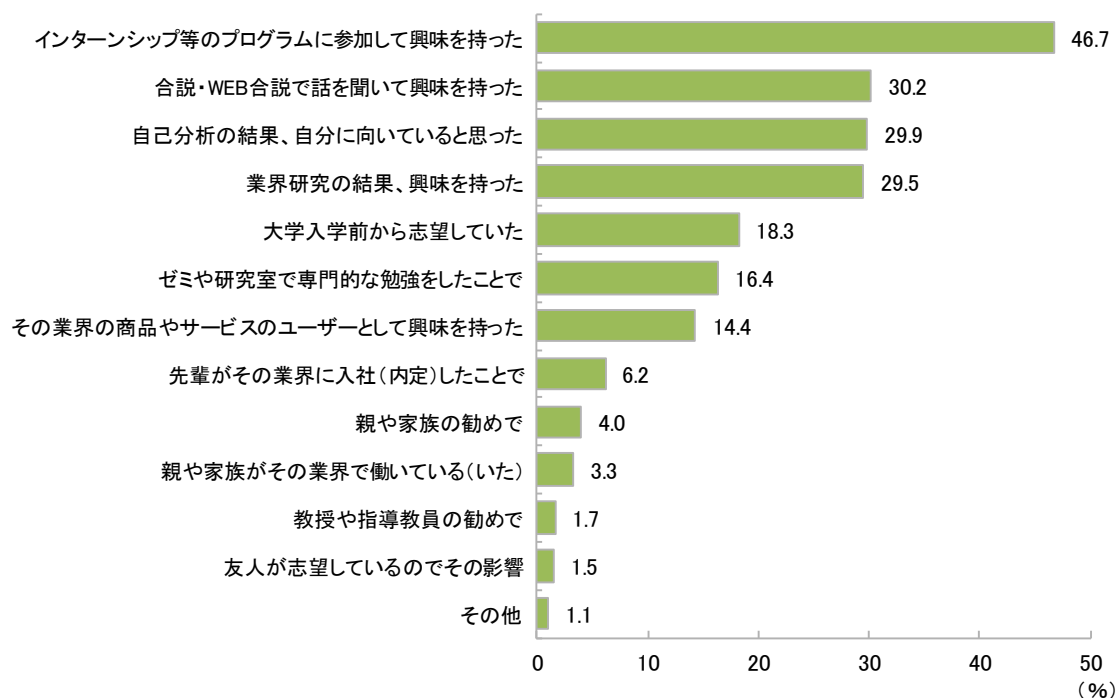
### <志望業界(上位 20 業界)>

全 体		文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
1	情報・インターネットサービス ① 18.5	銀行 28.7	マスコミ 25.0	情報・インターネットサービス 26.2	素材・化学 29.0
2	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト ② 16.8	調査・コンサルタン 18.7	水産・食品 19.6	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 26.2	医薬品・医療関連・化粧品 29.0
	水産・食品 ③ 16.8	運輸・倉庫 17.5	銀行 18.8	電子・電機 26.2	水産・食品 28.0
4	銀行 15.8	商社 (総合) 16.7	商社 (総合) 17.1	素材・化学 21.4	建設・住宅・不動産 24.0
5	建設・住宅・不動産 ⑤ 14.8	マスコミ 15.5	官公庁・団体 15.0	自動車・輸送用機器 19.0	情報・インターネットサービス 19.0
6	素材・化学 ⑥ 14.2	情報・インターネットサービス 15.1	建設・住宅・不動産 14.6	機械・プラントエンジニアリング 19.0	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 16.0
7	調査・コンサルタン ④ 14.1	官公庁・団体 14.7	商社 (専門) 14.2	エネルギー 15.9	電子・電機 15.0
8	マスコミ ⑧ 13.8	建設・住宅・不動産 13.9	情報・インターネットサービス 13.8	調査・コンサルタン 15.5	官公庁・団体 13.0
9	電子・電機 ⑨ 13.5	保険 13.9	保険 13.8	水産・食品 15.1	調査・コンサルタン 10.0
	官公庁・団体 13.5	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 13.1	医薬品・医療関連・化粧品 13.8	医薬品・医療関連・化粧品 13.9	マスコミ 10.0
11	医薬品・医療関連・化粧品 ⑦ 13.0	商社 (専門) 12.4	運輸・倉庫 11.3	精密機器・医療用機器 13.5	エネルギー 9.0
12	運輸・倉庫 12.3	水産・食品 11.6	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 11.3	通信関連 12.7	精密機器・医療用機器 9.0
13	商社 (総合) ⑩ 11.4	エネルギー 10.0	教育 10.4	建設・住宅・不動産 12.3	機械・プラントエンジニアリング 8.0
	エネルギー 11.4	信販・クレジット・ファイナンス 9.2	調査・コンサルタン 9.6	官公庁・団体 11.1	自動車・輸送用機器 7.0
15	自動車・輸送用機器 10.2	ホテル・旅行 8.8	信販・クレジット・ファイナンス 9.6	運輸・倉庫 10.7	農業・林業・鉱業 7.0
16	保険 9.3	信用金庫・労働金庫・信用組合 8.4	印刷・パッケージ 9.6	鉄鋼・非鉄・金属製品 7.5	運輸・倉庫 6.0
17	商社 (専門) 8.9	人材サービス・人材紹介・人材派遣 8.4	エネルギー 9.2	ゴム・ガラス・セメント・セラミックス 7.1	通信関連 5.0
	機械・プラントエンジニアリング 8.8	証券・投信・投資顧問 8.0	素材・化学 9.2	銀行 5.6	商社 (総合) 5.0
19	通信関連 7.2	教育 7.6	ホテル・旅行 8.8	印刷・パッケージ 5.2	ゴム・ガラス・セメント・セラミックス 4.0
20	精密機器・医療用機器 7.1	リース・レンタル 7.2	電子・電機 7.5	O A 機器・家具・スポーツ・玩具他 3.6	印刷・パッケージ 4.0
					O A 機器・家具・スポーツ・玩具他 4.0

※○の中の数字は前年同調査の全体順位10位以内

現時点で第 1 志望としている業界について、志望するに至ったきっかけを尋ねた。あてはまるものをいくつでも選んでもらったところ、最も多いのは「インターンシップ等のプログラムに参加して興味を持った」で、4 割強と圧倒的に多い (46.7%)。2 位以降は「合説・WEB 合説で話を聞いて興味を持った」「自己分析の結果、自分に向いていると思った」「業界研究の結果、興味を持った」が 3 割前後で続く (それぞれ 30.2%、29.9%、29.5%)。具体的なコメントを見ると、興味を持ったきっかけは様々だが、インターンシップ等に参加したり、業界について詳しく調べたりする中で、自分の志向や適性を確認し、志望を深めている学生が多いようだ。

### ＜第 1 志望の業界を志望するに至ったきっかけ＞



### ■具体的なきっかけ

- インターンシップを通して、自身の専攻分野を活かせる事業内容が非常に魅力的に感じた。  
＜素材・化学志望／理系男子＞
- 元々志望度は高かったが、インターンシップを通して自分にこの業界が一番向いているという事を確信できた。  
＜情報処理・ソフトウェア志望／文系男子＞
- 2Days インターンシップでグループワークを行い、そのフィードバックによって、自分は論理的な議論による問題解決が得意であることが分かり、志望するに至った。  
＜コンサルティング志望／理系男子＞
- 就活イベントがきっかけ。最初は漠然と志望していたが、他の業界を見ていくにつれ、明確な志望に変わった。  
＜建設・住宅・不動産志望／文系男子＞
- 金融関連の合同説明会に参加した際に、その事業内容や働き方に興味を持ったため。  
＜銀行志望／文系男子＞
- 大学が企画した企業研究会で、IT 系の企業のお話を聞いて興味を持ちました。  
＜情報・インターネットサービス志望／理系男子＞
- WEB での少人数座談会や社員に話を伺う機会や、社風に興味を持ち、業界にも興味を持った。  
＜人材サービス志望／文系女子＞
- 研究室などで先輩方のお話を聞いて。  
＜機械・プラントエンジニアリング業界志望／理系女子＞

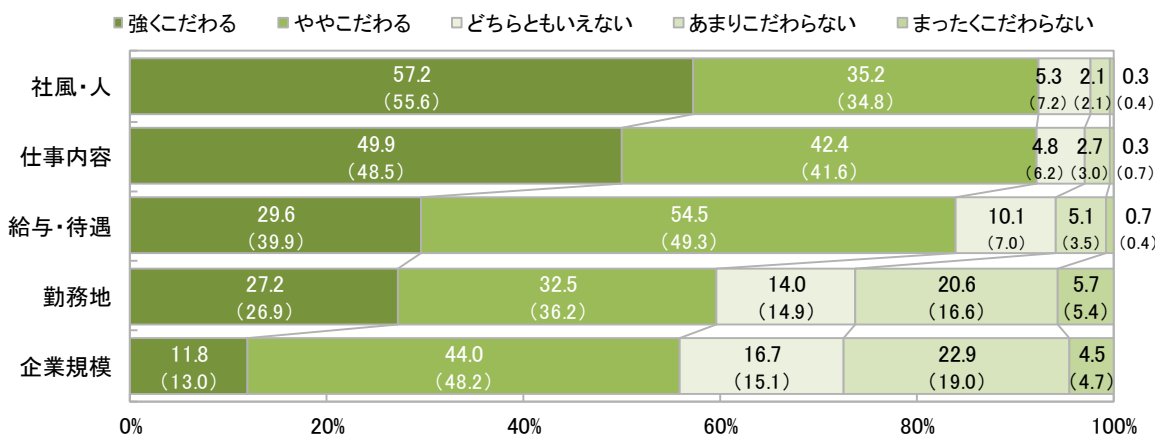
### 3. 企業選びのこだわり度合い

会社選びの軸として学生がよく挙げる 5 つの項目について、こだわりの度合いを尋ねた。「強くこだわる」が最も多いのは「社風・人」(57.2%) で、「ややこだわる」(35.2%) をあわせると 9 割を超える(計 92.4%)。「仕事内容」も 9 割超がこだわる と回答した(計 92.3%)。これらを知るためにも、インターンシップ等のプログラムに早くから参加する学生が多いのだろう(詳細は後述)。

逆に、こだわり度合いが低いのは「企業規模」で、強くこだわる学生は 1 割程度(11.8%)。

なお、「給与・待遇」については、「強くこだわる」の数値が前年調査より 10 ポイント以上減少。厳しい就職環境を覚悟し、こだわりの度合いが弱まっていることがわかる。

＜企業選びのこだわり度合い＞

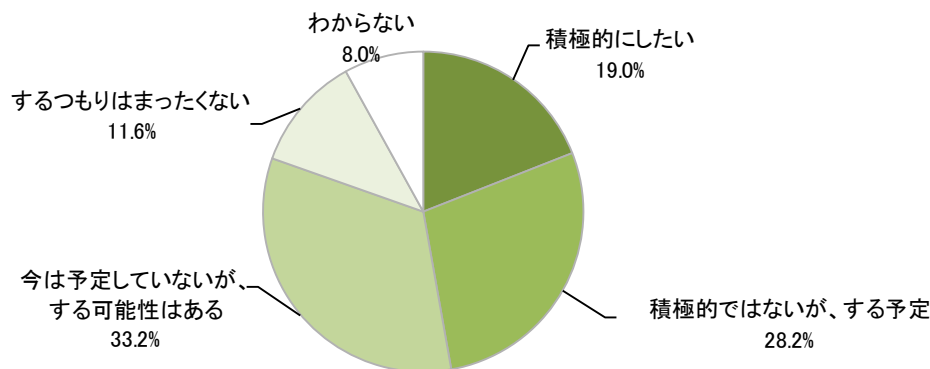


※( )内は前年同期調査の数値

### 4. 中小企業への就活予定

中小企業への就活予定について尋ねてみると、「積極的にしたい」(19.0%)、「積極的ではないが、する予定」(28.2%) を合わせて約半数が現時点で予定ありと回答(計 47.2%)。「予定していないが、する可能性はある」は 3 割強(33.2%)。大手企業のハードルの高さから、幅広く回りたいという意見も見られた。

＜中小企業への就活予定＞



- インターンに参加すると、いい会社がたくさんある。規模で縛る必要性はないと思う。 <文系男子>
- 日本のほとんどの企業は中小企業であるし、やりたいことと一致すれば規模はあまり関係ない。 <文系女子>
- ニッチな分野で頑張っている企業もある。将来の活躍が期待できると思う。 <理系男子>
- 大企業よりも中小企業の方が、私生活を充実できそう。 <理系女子>
- コロナで採用人数が減っているため、中小企業も視野に入れておかないと後で焦りそう。 <文系男子>

## 5. 就活準備イベントへの参加

就職情報会社が主催する就活準備イベント（インターンシップイベント、業界研究イベントなど）への参加状況を、開催形式ごと確認した。全体の9割強（94.7%）が「オンライン形式」に参加経験があると回答。「会場型」は5割（50.3%）と前年（87.8%）から急減しており、オンラインへの参加が圧倒的に多い。参加（視聴）回数についても、会場型の平均2.8回に対し、オンラインは8.5回と大きく上回る。

参加した時期を前年調査と比較すると、7月以降のポイントが軒並み上昇。特に秋の参加が大幅に増えている。オンラインが主流になったことで、開催地によらず参加しやすかったことなども影響しているだろう。

また、今後のイベント参加意向を尋ねると、「オンライン形式」が72.6%と高いものの、「会場型」も約半数（49.6%）に上る。参加（視聴）を希望する回数は、会場型で平均2.5回、オンラインで4.7回。今後も継続してイベントに参加することで、業界研究などの就活準備を進めたい学生が多いことが読み取れる。

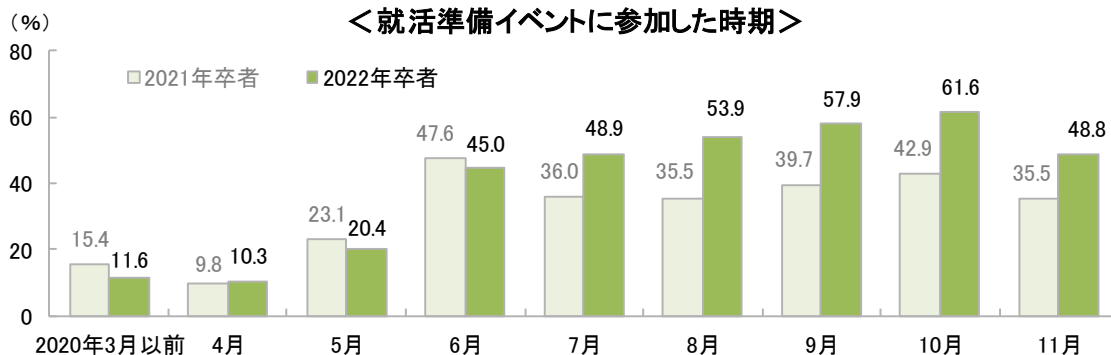
### <就活準備イベントの参加経験>

	全体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
会場型に参加	50.3	87.8	56.5	53.4	40.8	47.5
オンライン形式に参加	94.7	-	95.1	96.5	91.8	95.8

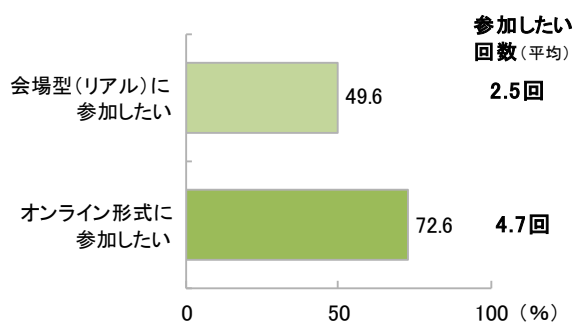
### <就活準備イベントの参加回数>

	全体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
会場型の参加回数(平均)	2.8	4.6	3.2	2.5	2.1	3.4
オンラインの視聴回数(平均)	8.5	-	8.8	9.3	7.4	7.9

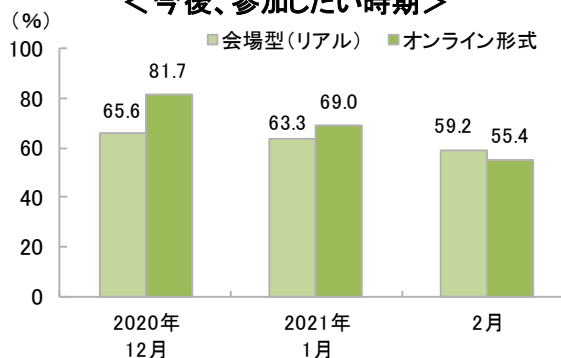
### <就活準備イベントに参加した時期>



### <今後の参加意向>



### <今後、参加したい時期>

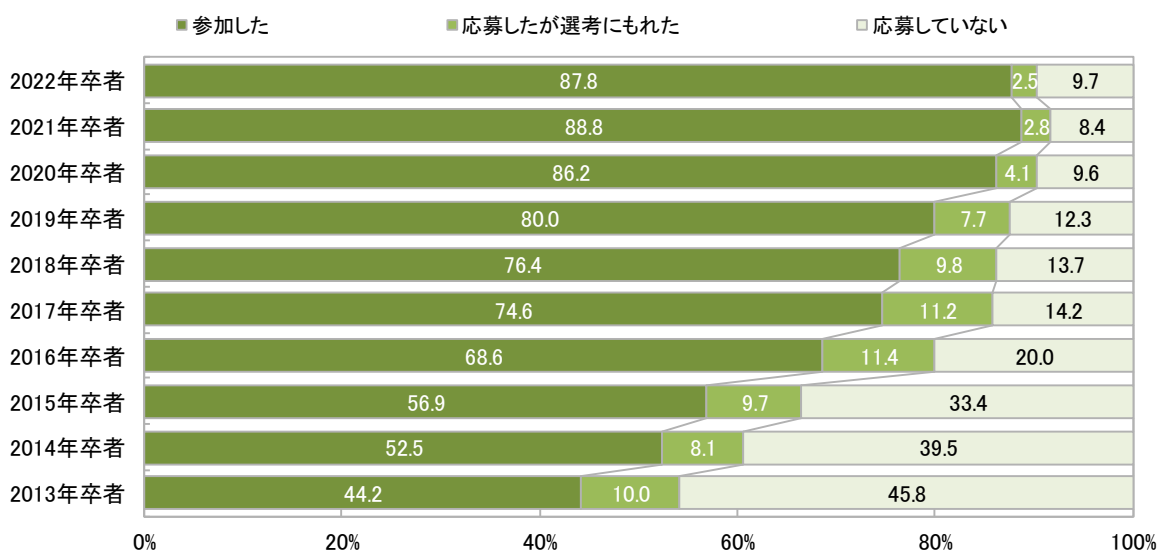


## 6. インターンシップ等の参加状況

インターンシップ等のプログラムへの参加状況を尋ねたところ、参加経験がある学生はモニター全体の 87.8% だった (オンラインを含む)。前年同期調査より 1 ポイント減少したものの、9 割に近い高水準を維持している。参加社数を見ると、ショートプログラムへの参加が多く、「1 日以内のプログラム」が平均 6.0 社で、前年より 1.2 社増加した。逆に 5 日以上プログラムは、前年の 1.4 社から 1.3 社に減少。対面での実施が厳しい状況で、長期インターンシップの実施自体が減っていることが影響していると見られる。

なお、参加時期は前年調査で最も多かった「8 月」が減少した一方で (78.7%→71.4%)、9 月以降のすべての時期で前年を上回った。秋以降のインターンシップに積極的に参加している学生が多いことがわかる。

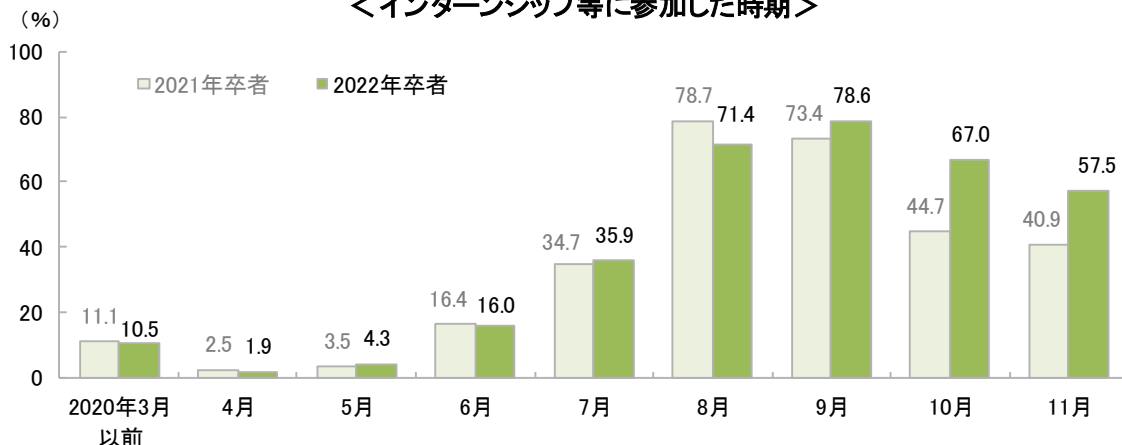
### <インターンシップ等参加経験>



### <インターンシップ等参加社数/平均>

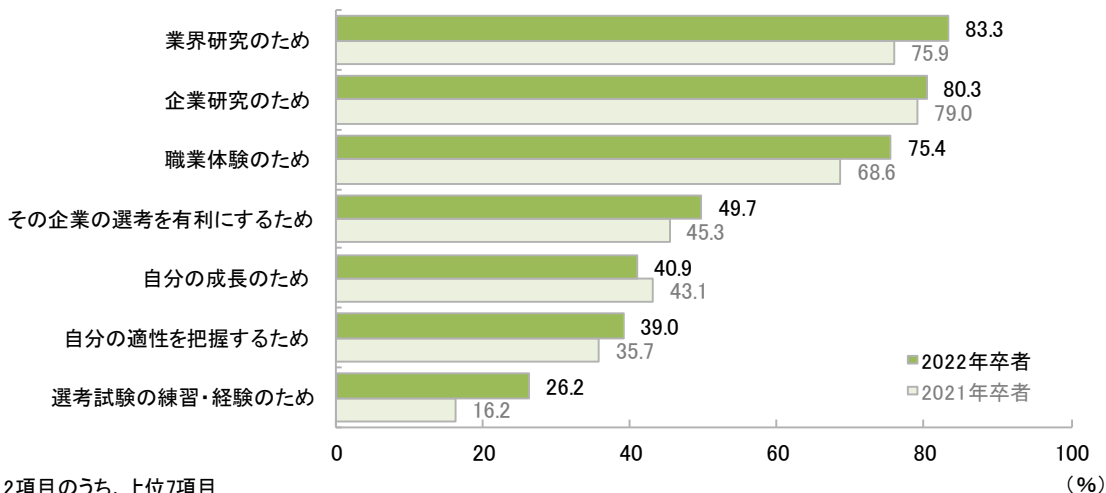
	全体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
1日以内のプログラム	6.0	4.8	6.6	6.7	4.9	5.0
2~4日間のプログラム	2.4	2.1	3.1	2.2	2.0	1.8
5日以上プログラム	1.3	1.4	1.3	1.4	1.3	1.3

### <インターンシップ等に参加した時期>



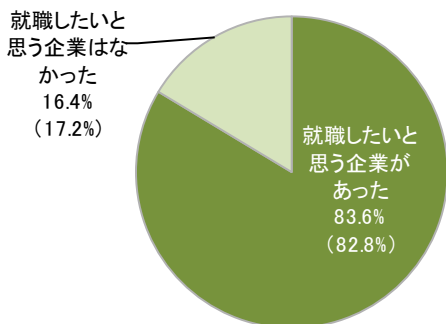
応募理由を複数回答で尋ねたところ、最も多かったのは「業界研究のため」で8割強 (83.3%)。次いで「企業研究のため」(80.3%)、「職業体験のため」(75.4%) が続き、上位3項目とも前年よりポイントを伸ばした。プログラムへの参加を通して様々な情報を得て、就職活動に役立てたいという傾向が強まっているように見える。「選考試験の練習・経験のため」は前年より 10 ポイント増加したが (16.2%→26.2%)、内定獲得への不安から、本選考の前に慣れておきたいと考える学生が増えているのかもしれない。

### ＜インターンシップ等に応募した理由＞

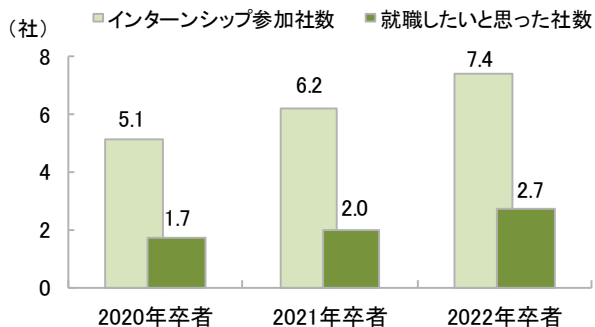


参加した結果、就職したいと思う企業があったかどうか尋ねたところ、「あった」と回答した学生は8割を超える (83.6%)。平均参加社数 7.4 社のうち、就職したいと思った企業は 2.7 社。前年と比べると、インターンシップ参加社数の増加に伴い、就職したいと思った社数も増加した (0.7 社増)。

### ＜インターンシップ参加企業への就職意向＞



### ＜就職したいと思った社数＞



### ■インターンシップ等に応募した理由

- 企業が行っている事業への理解を深めたり、社員の方々の雰囲気を知りたいと思って応募しました。また、早期選考の案内も期待していました。 <文系女子>
- 実際に業務の一端を体験でき、自分なりの視点で企業を評価できるから。 <理系男子>
- 志望業界やその会社での業務内容が自分のイメージしているものと同じであるのか、またそれが自分のやりたいことであるかを見極めたかった。 <理系女子>
- 社会人からのフィードバックがもらえるから。また、いろんな人とコミュニケーションを取る練習も大事だと思っている。 <文系男子>



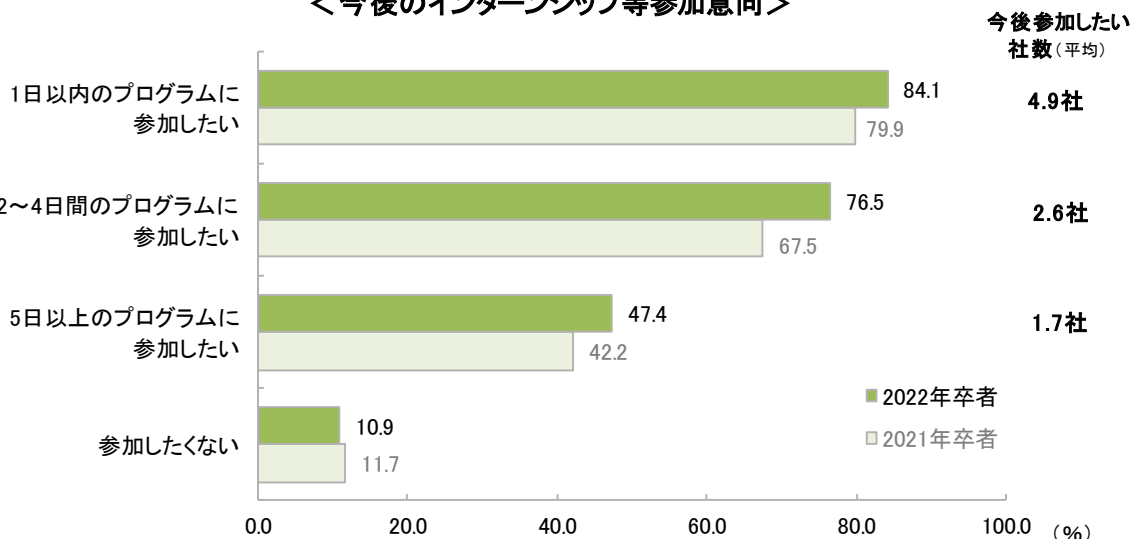
### 7. 今後のインターンシップ等参加予定

今後のインターンシップ等については、「参加したくない」と回答した学生は10.9%にとどまり、約9割が参加の意向を示した(89.1%)。中でも、1日以内のショートプログラムへの参加意向が高く、8割強に上った(84.1%)。「2~4日間のプログラム」は7割強(76.5%)、「5日以上プログラム」は約半数が参加を希望。すべての日数で前年調査を上回る。

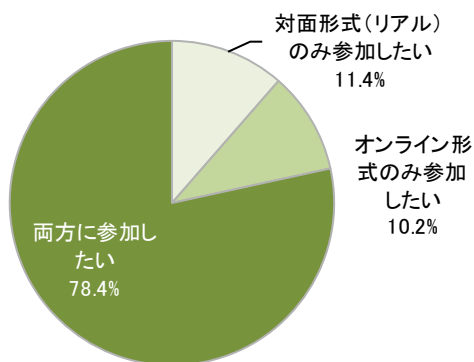
参加意向のある学生に、今後参加したい形式を尋ねると、対面とオンラインの両方に参加したい学生が約8割を占めた(78.4%)。

具体的に参加したい時期は「1月」が最も多く、約9割に上る(88.4%)。その前後の時期の「12月」(85.4%)、「2月」(81.5%)もそれぞれ8割を超える。3月の採用広報開始後はポイントが下がるものの、「3月」は4割を超え、インターンシップ等を通じて企業を見極めたいと考える学生が一定数いるものと見られる。なお、いずれの時期(月)も前年よりポイントを伸ばしており、学生の参加意向の強さがわかる。

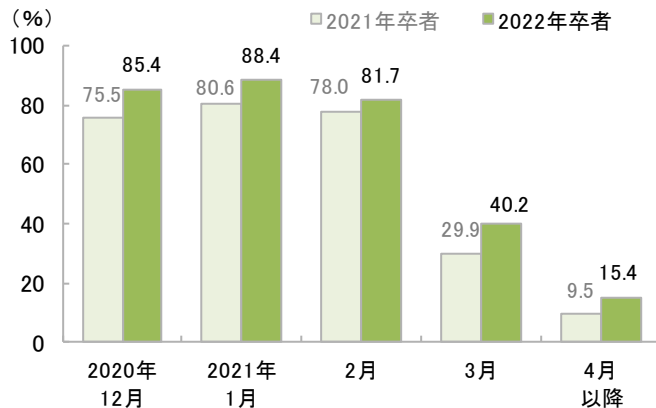
＜今後のインターンシップ等参加意向＞



＜今後、参加したい形式＞



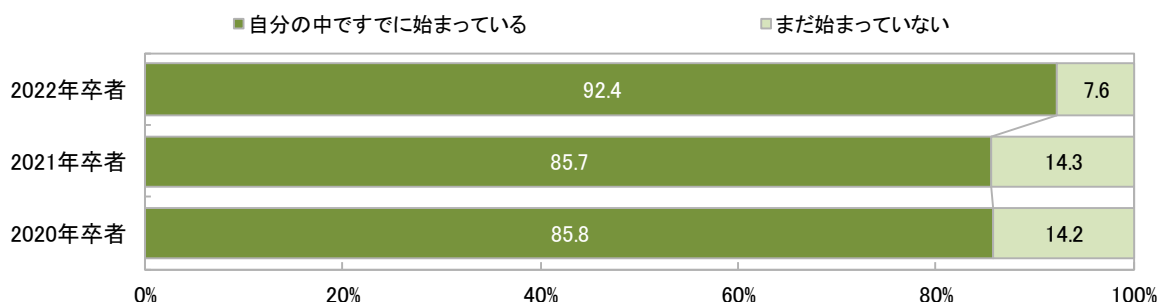
＜今後、参加したい時期＞



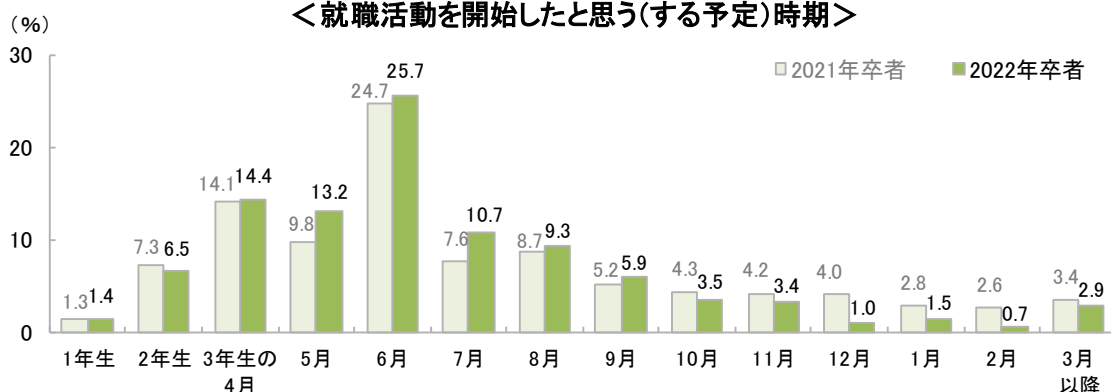
## 8. 就職活動開始状況

就職活動開始状況を尋ねたところ、9 割強 (92.4%) が自身の就職活動は「すでに始まっている」と回答。前年同期調査から 7 ポイント近く増えた。開始時期の最多は前年同様「6 月」だが (25.7%)、「5 月」や「7 月」が前年より 3 ポイントほど増加するなど、全体的に開始時期が早まった様子が見て取れる。1 学年上の先輩たちの就活がコロナの影響で思うように進まず、深刻化しているのを目の当たりにし、危機感から意識が高まった可能性がある。なお、6 月までの合計は 6 割を超える (計 61.2%)。

### <就職活動の開始状況に対する考え>



### <就職活動を開始したと思う(する予定)時期>



※自分の中ですでに始まっていると回答した人は「開始したと思う時期」、まだ始まっていないと回答した人は「開始予定時期」

### ■就職活動について思うこと

- 就活に関して気軽に相談できる横のつながりが少ないことが不安である。 <理系男子>
- 冬季のインターンシップに積極的に参加したいが、コロナの感染拡大が予測されるため、心配です。 <文系女子>
- 純粋に、これから先就職できるのかという不安があります。インターンシップで落ちた企業に本選考で通るのだろうか、などという疑問もあります。 <文系女子>
- 感染症拡大に伴って不便になったこともあるが、WEB 面接や説明会は気軽に参加でき、交通費もかからないので、非常に楽で良いと感じている。 <理系男子>
- コロナでオンライン面接ばかり経験は積めるが、対面型の面接が苦手である。 <文系女子>
- 企業の悪い面も知りたい。また、自分をよく見せることも大事だが、自分の弱みも補完できる環境であることがわかると安心する。 <理系男子>
- やるべきことが多すぎて追いつかない。オンライン授業になって課題も多いため大変。 <理系女子>
- 今後の見通しが不安だが、自分の中でやれる事を地道にやっていきたい。 <文系男子>